

# 三原マツダ販売(株)(マツダオートザム三原)

## 第62期 環境活動レポート

(対象期間:2017年7月1日～2018年6月30日)



作成日 :2018年7月21日

# 経営理念

マツダオートガム三原はお客様の評価と

従業員の「自主性」と「創造性」で造られる会社です

## 環境方針

自動車販売や整備を営む企業として事業活動により生ずる環境への負担を軽減するために「環境に優しい整備工場」を目指し経営理念に基づき継続的に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化酸素排出量削減のため、石油系燃料・電気の使用量の削減に取り組みます。
3. 分別の徹底・リサイクルの推進に努め、廃棄物排出量を削減します。
4. 社内で使用する水量の削減により、総排出量の削減に努めます。
5. 事務用品のグリーン購入を推進します。
6. 環境に配慮した車両又は用品の販売を促進します。

制定日：2014年2月20日

代表取締役社長 松山 卓造

## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
三原マツダ販売株式会社  
代表取締役 松山 卓造
- (2) 所在地  
723-0052  
広島県三原市皆実2丁目2-8
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 池廣 邦一 TEL0848-62-5265  
担当者 池廣 邦一 FAX0848-63-5365
- (4) 事業内容  
自動車販売・整備及び保険業務
- (5) 事業の規模（第62期／2017年7月～2018年6月）  
自動車販売台数 129台（新車85台、中古車44台）  
整備入庫台数 3,119台  
従業員 11名  
延べ床面積 1,100㎡
- (6) 事業年度 7月～6月

## □認証・登録の対象組織・活動(全組織・全活動)

登録事業者名： 三原マツダ販売株式会社  
活 動： 自動車販売・整備及び保険業務

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	60期 (2015.7-2016.5)	61期 (2016.7-2017.6)	62期 (2017.7-2018.6)
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	53,894	48,790	47,080
廃棄物排出量		—	—	—
一般廃棄物排出量	kg	1,010	1,880	1,890
産業廃棄物排出量	kg	1,330	1,690	1,965
総排水量	m <sup>3</sup>	221	236	173

(注) 電力の二酸化炭素排出量換算値：中国電力平成24年度排出係数0.738kg-CO<sub>2</sub>/kWh

## □環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (60期) (2015.7-2016.6)	62期 (2017.7-2018.6)		63期 (2018.7-2019.6)	64期 (2019.7-2020.6)
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	33,763	33,088	29,202	32,750	32,412
	基準年比		98%	86%	97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	18,669	18,296	17,247	18,109	17,922
	基準年比		98%	92%	97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	52,432	51,384	46,449	50,859	50,335
			98%	89%	97%	96%
一般廃棄物の削減	kg	1,010	990	1,890	980	970
	基準年比		98%	187%	97%	96%
産業廃棄物の削減	kg	1,330	1,303	1,965	1,290	1,277
	基準年比		98%	148%	97%	96%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	221	217	173	214	212
	基準年比		98%	78%	97%	96%
グリーン購入の推進	グリーン購入比率	65%	68%	69%	69%	70%
	基準年比		+3ポイント	+4ポイント	+4ポイント	+5ポイント
点検パック（パックメンテナンス）契約増加	件	81	86	22	87	89
	基準年比		106%	27%	108%	110%
リサイクルパーツ使用推進	件	22	25	47	26	27
	基準年比		115%	214%	120%	125%

(注1) 化学物質は使用していない。

## □環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

取組計画	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
<b>電力による二酸化炭素削減</b>			
数値目標	○	現状維持	活動はほぼ定着し環境目標を達成した。次年度も継続して取り組む。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	継続	
・不要照明の消灯	○	継続	
・使用していない部屋の空調管理	○	継続	
・OA機器の省電力設定	△	継続	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	継続	
<b>自動車燃料による二酸化炭素削減</b>			
数値目標	○	現状維持	活動はほぼ定着し環境目標を達成した。次年度も継続して取り組む。
・アイドリングストップ	○	継続	
・エコ整備	△	継続	
<b>一般廃棄物の削減</b>			
数値目標	×	現状維持	活動はほぼ定着したが、一時的な排出により目標達成できなかった。次年度も継続して取り組む。
・分別の徹底	○	継続	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	継続	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	継続	
<b>産業廃棄物の削減</b>			
数値目標	×	現状維持	活動はほぼ定着したが、整備業務量増により環境目標を達成できなかった。次年度も継続して取り組む。
・作業ミスによる廃棄量の削減	△	継続	
・3S活動の実施	○	継続	
・リサイクル業者の開拓	○	継続	
<b>水道水の削減</b>			
数値目標	○	現状維持	月別ではバラツキがあるが、年間累計では目標を達成した。今後も徹底したい。
・節水シールの貼り付けとポスター掲	○	継続	
・バルブの調整による水量と水圧の調	○	継続	
<b>グリーン購入の推進</b>			
数値目標	○	現状維持	出来るだけエコマーク付きの商品の購入に努め、目標を達成した。次年度も継続して取り組む。
・事務用品のグリーン購入	○	継続	
<b>点検パック（パックデメンテ）契約増加</b>			
数値目標	×	現状維持	お客様に積極的に勧めましたが、環境目標を達成できなかった。今後も継続してパックデメンテ加入者を増やしていく。
・顧客への推奨活動	○	継続	
<b>リサイクルパーツ使用推進</b>			
数値目標	○	現状維持	今後も継続してリサイクルパーツ使用の提案・推奨を進めていく。
・顧客への推奨活動	○	継続	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無**  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法律名	適用	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃油等）	○
騒音規制法	切断機, 空気圧縮機(3.7kWで対象外), グライNDER（広島県条例）	○
フロン排出抑制法	業務用空調機	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理（許認可、処理等）	○
消防法	危険物の保管（指定数量の1/5保管量で管理）	○
浄化槽法	浄化槽の適正管理	○
水質汚濁防止法	油類流出事故時の対応	該当事例なし

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去3年間ありませんでした。

**□代表者による全体の評価と見直し**

運用開始から4年半が経過したが、環境目標達成状況・環境活動実施状況ともほぼ満足すべき結果となった。今後も取組を徹底し、少しずつでもレベルアップを図っていくこととする。

**□環境活動の紹介**

今年度はエコカーの販売とエコ整備に努めました。積極的に「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」に参加をしました。

